

学生プランシート

団体名 ※個人の場合は記載不要	西山専門ゼミグループ4
所属学校 ※複数校にまたがる場合は代表者の所属する学校	北陸大学

1 提案プランのタイトル・概要

タイトル	スマート分散誘導システムによる三方よし観光最適化計画
プランの概要	リアルタイム混雑データや人流情報を活用し、観光客を時間・空間的に分散誘導するスマートシステムを導入する。 AIを活用したアプリやデジタルサイネージにより、混雑を避けた快適な観光ルートを提案。特定エリアへの集中を防ぎ、地域全体に観光客を誘導する。 これにより、観光客の満足度向上、住民の生活負担軽減、地域事業者の収益拡大を同時に実現する「三方よし」の観光を目指す。金沢の持続可能な観光発展に貢献する計画である。

2 プランを思いついたきっかけ・背景

金沢市では観光客の増加により、ひがし茶屋街や兼六園周辺で混雑が常態化し、住民の生活環境に悪影響を与えていることが問題視されている。一方、魅力的でありながら知られていない地域資源も多く、それらが活かされていない現状に課題を感じた。技術を使って観光客をうまく分散できれば、地域全体にとってより良い観光の形が実現できると考え、本プランを提案した。

3 プランの目的・ねらい

このプランで目指すのは、次の3つを同時に実現すること：

1. 観光客：快適で新しい発見のある旅を体験してもらう
 2. 地域住民：混雑や迷惑行為による生活負担を軽減
 3. 観光事業者：繁忙期、閑散期や地域間の偏りを解消し、売上の最大化を図る
- 「混雑の緩和」と「観光体験の質の向上」を同時に実現し、住民・観光客・事業者すべてがメリットを得られる「三方よし」の観光モデルをつくることが目的。持続可能で誰にとっても快適な観光都市を目指す。

4 企業に協力してほしい内容

地元のIT企業やスマートシティ開発に強みを持つ企業の協力してもらい、混雑状況の可視化と通知アプリの開発、サイネージ設置、AI誘導システムの運用を実施する
GPSやスマホデータを活用した人流のリアルタイム分析
AIによる混雑予測システムの開発
観光客に分かりやすく情報提供できる多言語対応アプリやサイネージの構築
携帯基地局やGPSアプリなどから得られる観光客の移動データの提供

5 プランのターゲット

2回目の金沢観光で新しい場所を探している人たち
首都圏・関西圏の週末旅行者
個人または少人数グループの外国人観光客（英語、中国語など）
20代～40代のSNSや旅行アプリを活用して旅を楽しむ層

6 プランの実現化に向けて

必要な資源
(ヒト、モノ、
技術・ノウハ

ヒト：ITエンジニア、観光DX専門家、地域の観光協会職員
モノ：スマートフォンアプリ、観光地に設置するデジタルサイネージ、IoTセンサー

ウ)	技術・ノウハウ：人流データの収集、分析技術 AIによる混雑予測、行動シミュレーション、多言語や多文化対応の観光情報提供
実現に向けて考えられる課題（ハードル（障害）やリスク）と対処方法	導入コストが高い → 市や企業の補助金制度の活用、段階的導入を検討 利用率の低さ → インセンティブ（ポイント付与、割引）で利用促進 データ収集とプライバシーの問題 → 位置情報は匿名化された統計データとして収集、利用者にはアプリ起動時に明確な同意を得る設計
情報発信の方法	観光サイトや宿泊予約サイトとの連携 外国語対応の観光動画広告 SNS（Instagram、X、TikTok）によるリアルタイム情報発信 金沢観光協会のHPや観光案内所でのパンフレット設置 交通機関（新幹線、バス）内広告、インフルエンサーによる紹介
スケジュール、今後の発展性	2025年10月 システム設計・企業連携開始 2025年2月 実証実験 2026年5月 本格運用開始 2026年8月～ 金沢市全域展開

7 調査、ヒアリング結果